

7
月号
July



協力隊の色とりどりの活動をお伝えします！



西村 咲希
Saki nishimura

📍 大正地域振興局 🏠 大正商店街のにぎわいづくり

将来に向けての第一歩「たのののまちカフェ」

私が四万十町に移住してから一年経過しました。とつくに一年以上経過したのではないかと思うほどここに来てからは濃い日常を過ごしています。

あと2年で卒業となりますが、今はカフェ開業という目標のもと、色々なイベントに出店させてもらっています。その一つとしてゴールデンウィーク中の3日間、「たのののまちカフェ」というテイクアウトイベントを大正商店街にて開催しました。このイベントは大正駅前で購入したパンやおにぎりを持ってまち歩きをしてもらい、町内に設置したベンチでご飯と景色を楽しんでもらうという企画でした。当日は地元の方たちにたくさん立ち寄っていた



「たのののまちカフェ」の様子



だき、無事全日程で商品が完売しました。課題も多く見えたイベントでしたが、地元の方に楽しんでもいただき、応援してもらっていることを実感しました。

また、このイベントではパン作りが趣味の地元主婦の方にも販売に初挑戦していただきました。「自分で何かしてみたいけれども挑戦する機会が無い。」という人が少なからずいる中で、カフェを開業したい私が今後も挑戦の機会を作っていけると大正地域がより活発になるのではないかと感じました。

コロナ禍により満足には動けない状況ですが、引き続き大正商店街の活性化に繋がるイベントや企画に挑戦していきたいと思っています。

📍 窪川（本庁） 🏠 太平洋に面する沿岸地域の観光振興

観光振興とは

竹内 恒陽
Koyo Takeuchi



協力隊任期も残すところ、あとわずか。自身の担当ミッションである「観光振興」とは何だろう？と常に考えてきました。最初は、多くの人に訪れてもらい楽しんでもらうことだと漠然と考えていましたが、このコロナ禍で人を呼び込むことが非常に難しい状況にあるなか、考え直してみました。

まず、多くの人に訪れてもらうには魅力的な地域である必要があります。では魅力的とは？と考えたところ、人を惹きつけるもの（例：美味しい食べ物があるなど）があるだけでなく、実はそれを取り巻く環境がとても重要ではないかという答えにたどり着きました。

私が担当する志和地域に

は、岩石蘭や轟の滝などの観光資源がありますが、ではそれらを取り巻く環境は？と考えた際、浮かんだのは地域住民の方々です。綺麗な花がある、綺麗な滝がある。だけでなく、その周りに住む住民の方々が笑顔で生き生きと生活を送っていてみんなその観光資源を大事にしている。素晴らしい観光資源の周りで輝く人たちがいることで魅力的な地域となるのではないかと今では考えています。

このことから、地域振興として志和地域を対象としたスマホ教室や卓球教室を開催、地域内交流を促進し絆を深める機会を創出しています。訪れた方々が笑顔になる。これからも志和地域はそうあって欲しいと願い活動を続けていきます。





吉岡 亜紀
Aki Yoshioka

窪川（本庁） 四万十町の魅力発信
「しまんと食材図鑑」連載中

協 力隊が作るフリーペーパー「りぐらんと」で連載している「しまんと食材図鑑」の取材担当をしています。この「しまんと食材図鑑」は、地域の食材を地元の方がどんなふうに食べているか、飾らない調理法をお伝えしているコーナーです。



志和にてレシピ取材中



今年は2キロの梅を漬けました

ジシヨップ「4+」で提供しているカレーにも添えています。レシピ本はたくさん持っています。やはり目の前で教わるレシピは思い入れがあり特別な感じがします。作る最中も、教わったときの風景や、その人の表情が浮かんできてあたたかい気持ちになります。

毎回食材選びには悩みますが、今回は志和で採れるイカを選びました（次号のりぐらんとは8月発行予定）。身近に手に入る食材を使った、簡単で美味しいレシピを掲載していきますので、特集記事だけでなく食材図鑑もお見逃しなく！

私が担当する回は残り少ないですが、今後も地域の食の楽しみ方をお伝えしていければと思っています。



四万十町の ココがスキ！

みんなのお気に入りをご紹介します！



土佐大正駅

木造で独特のフォルムからこの駅を見に来る観光客も多い土佐大正駅。日曜日はたまにパラソルが外に出て一休みすることもできます。まだまだ潜在的な価値が眠っているような場所です。（西村 咲希）



四万十といえは...
やっぱりあめご！

移住して3年目。釣りが大好きな私は、時間があればそそくさと川へ…。子どもたちも大きくなってきた今では一緒に釣りを楽しんでいます。身近にある素晴らしい自然。私から見た四万十町最大の魅力です。（竹内 恒陽）



川舟と四万十川

地域の方が四万十川での川エビ漁に連れていってくれました。仕掛けにたくさんの川エビがかかっていたのにも驚きましたが、川舟から見るゆったりとした景色が素晴らしいことが心に残っています。（吉岡 亜紀）

編集後記

気づけば季節が夏になりましたね。夏といえば虫たちも元気になる時期ですが、皆さんの家にはどんな虫が出回っていますか？わが家では先日の夜、帰宅すると床にピカピカ光るなにかがおり、よく見ると部屋に迷い込んだ蛍でした。窪川のまちなかではほとんど見かけないので、しばらくじっくり観察して楽しみました笑。見れば見るほどお尻が光るのが不思議だなあと思いつつ、部屋の中で光らせておくのもかわいそうなので、そっと外に逃がしてあげました。

なんだか今年は特に時間の流れが早く感じます。日々充実している証拠かもしれませんが、卒業へのタイムリミットが刻一刻と近づいているようで寂しくなります。（編集：吉岡 亜紀）



四万十町地域おこし協力隊の活動は
ホームページ、SNSにて発信中！

協力隊公式HP



Facebook



Instagram



窪川

大正

十和

四万十町では現在18名の協力隊が活躍しています。

協力隊へのご連絡はこちらまで



四万十町役場 にぎわい創出課

四万十町 琴平町16番17号（西庁舎2F）

Mail: 103050@town.shimanto.lg.jp Tel: 0880-22-3281